

にっぽん零年 (1968)

メディア 映画

ジャンル ドキュメンタリー

製作国 日本

色彩 B&W

時間 74分

初公開日 2002/07/06

公開情報 日活

【キャッチコピー】

斗え日本人！

34年ぶり蘇る、
幻のドキュメンタリー

【解説】

1968年、藤田敏八、河辺和夫、斉藤光正、浦山桐郎という当時の若手監督4人が、70年安保に揺れ動いた日本の若者たちを追ったドキュメンタリーの製作にかかった。が、意見の相違から斉藤、浦山の二人が途中で降板、藤田と河辺の撮影部分だけは完成まで漕ぎ着けたものの、結局なぜか公開が見送りされた曰く付きの作品。

1968年、日本中が70年安保闘争に揺れ、学生運動がピークを迎ようとしていたとき。カメラは時代の渦中に身を置く若者たちを追っていく。ある東大生の活動家は思想論争を重ね、激化する大学紛争に身を投じ、ヘルメットをかぶりゲバ棒片手に行動へと進む。一方、新宿であてもなく彷徨うフーテンの少女は、浮遊しながら“本当の自分”でないことへの苛立ちをぶつける。また、特別な思いがあるわけでもなく自衛隊に入隊した青年は、世間の喧騒をよそに厳しい訓練に明け暮れる……。

【クレジット】

演出	河辺和夫 藤田繁矢
製作	渡辺昇
企画	大塚和 友田二郎
構成	河辺和夫 藤田繁矢
撮影	大津幸四郎 義江道夫 飯島実 八木勲
編集	丹治睦夫 岡安イ 井上治
音楽	佐藤允彦
録音	長谷川良雄 佐藤亨
効果	杉崎友治郎

助監督 小原宏裕
岡田裕